

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

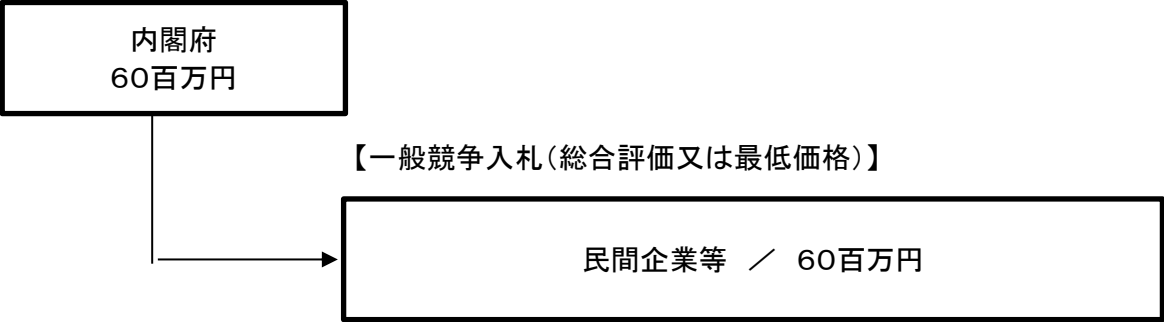
事業番号 新31 - 0011

平成31年度行政事業レビューシート（内閣府）														
事業名			次世代医療基盤法に関する国民・患者の理解の増進に必要な経費			担当部局庁		政策統括官（科学技術・イノベーション担当）			作成責任者			
事業開始年度			平成31年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室		日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室			参事官 田中 謙一			
会計区分			一般会計											
根拠法令（具体的な条項も記載）			医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律（平成29年法律第28号）第3条、第5条等			関係する計画、通知等		医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針（平成30年4月27日閣議決定）等						
主要政策・施策			科学技術・イノベーション			主要経費		その他の事項経費						
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）			医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律（以下「次世代医療基盤法」とする）の国民による適切な理解に基づき、データ利活用基盤の整備及び情報の利活用がさらに加速・高度化され、健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出を促進し、もって健康長寿社会を実現することを目的とする。											
事業概要（5行程度以内。別添可）			次世代医療基盤法が国民に適切に理解され、産学官による匿名加工医療情報の積極的な利活用を推進するための事業を行う。具体的には、広報活動、啓発活動を通じて、制度に対する国民の理解を深める事業を行う。											
実施方法			委託・請負											
予算額・執行額（単位：百万円）					28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求					
			予算の状況	当初予算	-	-	-	60	150					
				補正予算	-	-	-	-						
				前年度から繰越し	-	-	-	-	-					
				翌年度へ繰越し	-	-	-	-						
				予備費等	-	-	-	-						
			計		0	0	0	60	150					
			執行額											
			執行率（％）		-	-	-							
			当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		-	-	-							
平成31・32年度予算内訳（単位：百万円）			歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由							
			庁費		60	150	「新しい日本のための優先課題推進枠」102 「成長戦略フォローアップ（令和元年6月21日閣議決定）」に基づき、広報・啓発による国民の理解増進を行うための増。							
			-		-	-								
			-		-	-								
			-		-	-								
			-		-	-								
			計		60	150								
成果目標及び成果実績（アウトカム）			定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標34年度	目標最終年度-年度	
			次世代医療基盤法に基づく認定匿名加工医療情報作成事業者の収集規模人数		成果実績	万人	-	-	-	-	-			
					目標値	万人	-	-	-	2,000	-			
					達成度	％	-	-	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名（出典）			医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律についてのガイドライン（平成30年5月策定）											
活動指標及び活動実績（アウトプット）			活動指標				単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込		
			次世代医療基盤法に関する普及啓発のための事業数			活動実績	件	-	-	-	-	-		
						当初見込み	件	-	-	-	3	-		
単位当たりコスト			算出根拠				単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込			
			次世代医療基盤法に関する普及啓発のための費用（円）／事業数（本）			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	20			
						計算式	百万円/件	-	-	-	60/3			
		政策	-											

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	施策														
		測定指標	定量的指標				単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度		目標年度 － 年度			
						実績値	－	－	－	－	－	－	－			
						目標値	－	－	－	－	－	－	－			
			定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)								
								－								
							－	施策の進捗状況(実績)								
							－									
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係														
		－														
	新経済・財政再生計画改革工程表 2018	取組事項	分野:	－		－										
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 － 年度	30年度	31年度	中間目標 － 年度		目標最終年度 － 年度			
						成果実績	－	－	－	－	－	－	－			
						目標値	－	－	－	－	－	－	－			
						達成度	%	－	－	－	－	－	－			
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 － 年度	30年度	31年度	中間目標 － 年度		目標最終年度 － 年度			
						成果実績	－	－	－	－	－	－	－			
			目標値	－	－	－	－	－	－	－						
			達成度	%	－	－	－	－	－	－						
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係																
－																
事業所管部局による点検・改善																
国費投入の必要性	項 目					評 価	評価に関する説明									
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	健康・医療・介護データが分散しており、データベースごとに縦割りで活用できる主体が限られている現状において、国民や患者がメリットをより一層実感できるデータ利活用基盤の整備が求められている。本事業はオールジャパンのデータ利活用基盤の構築に向けて、次世代医療基盤法の施行と周知広報等を通じて、国民や社会のニーズに応えるものである。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	本事業は、次世代医療基盤法に基づき、産学官による利活用がさらに加速・高度化する好循環を実現していくために国において実施すべき施策を講ずるものである。									
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	本事業は、次世代医療基盤法の施行にあたっては、国民・患者の理解を得ることが不可欠であり、必要性が高いものである。加えて、成長戦略である「未来投資戦略2018」において「ビッグデータとしての健康・医療・介護情報解析基盤の整備」のための施策の一つとして盛り込まれている。従って、優先度の高い事業である。									
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					－	－									
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。															
	競争性のない随意契約となったものはないか。															

事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	-		
	所管府省名	事業番号	事業名				
	点検・改善結果	点検結果	-				
改善の方向性		-					
外部有識者の所見							
-							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努めるべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努める。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度							

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)